

県・市・NPOの 協働事業

く
ら
ら
中村さん



P&P (パークパートナー)

とは?

- ❖公園の美化活動をやっている市民のネットワーク作り。
- ❖ネットワークを活用するため、情報交換する場を設ける。
- ❖イベントの開催 永野川緑地公園にて『たこあげ大会』
- ❖P & Pの向上のため、研修会を開催する。(下記参照)
- ❖お知らせ【水辺を子どもたちに！】子どもたちが水辺で遊べるようにするため永野川河川敷の草刈りを行います。ご協力下さる方、ボランティア募集してます。日 時 平成21年7月19日(日) 午前7時～9時
場 所 栃木工業高校グランド東側駐車場集合
持ち物 鎌・軍手・長靴
問い合わせ 市民活動推進センターくららまで

第1回目

講師

株式会社

シー・アイ・エス
岸 靖佳氏



6月5日(金)

『公園のデザインと安全性』

魅力ある公園とは人が集う機会をふやし、公園を活用することから生まれます。そのためには「領域性」「抵抗性」「監視性」の3つポイントは欠かせないといいます。交流会では、日ごろの公園の美化活動をしていて、よかった点と苦労している点をあげてもらいました。身近な公園を良くしたい想いは同じであり、いろいろな立場から公園の現状と対策を聴くことができました。その中には、公園に集まる若者の問題やホームレスなど、社会的背景を映すものもありました。そういった問題に、真剣に向き合い、利用する方との信頼関係を築く活動には感心するばかりでした。

～参加者～
15名



第2回目

講師

作新学院短期大学 教授
青木 章彦氏



6月14日(日)

『環境-保護と管理-』

永野川緑地公園にて青木章彦氏にフィールドワーク(公園内を散策しながら植生管理の現状の把握)を行いました。その地にあった植生を知ることで、公園の管理の仕方も変わることが分かりました。続いてのミニ講義では、実際の管理の概要、事例を学び、植生を知った上でどのように応用するかが問題になります。一つに順応的管理の利点をあげ、公園をよく利用する方の意見(植生・管理の仕方等)を取り込み、評価したうえで実行そして振り返り行うことで、理想の公園にしていく方法を取り入れるのはどうかと話題になりました。ワークショップでは、現状・課題・改善点を付箋に書き出しホワイトボードに張る作業を行い、みんなで共通認識を行いました。最後にグループに分かれて話し合った結果、人や植物・他の生物と共生できるような公園にしたい 草や芝を刈るところを区別して管理するといった点があがり永野川緑地公園に対する想いを一つにしました。

～参加者～
22名

